

## 事務事業評価調書

事務事業名	庁舎管理事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	組織改正による改正											
(2) 直近の改正	平成28年													
(3) 根拠法令等	吹田市事務分掌条例、吹田市事務分掌規則、吹田市庁舎管理規則													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	本庁舎、本庁舎に勤務する職員及び来庁舎等												
	目標(どういう状態にしたいのか)	本庁舎内の秩序維持及び安全確保												
	結果(どのような効果が得られるのか)	公務の適正な執行の確保及び来庁者等の安全確保												
(7) 事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内、施設内の秩序維持、安全確保及び美観・衛生の確保</li> <li>・電気・機械設備等の運転、保守及び管理</li> <li>・事務室の割振り、代表番号及び内線番号の管理</li> <li>・駐車場の運用及び管理</li> <li>・その他庁舎管理全般</li> </ul>													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	大事業	04	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		334,106	326,542	394,786	372,801	430,381							
	人件費	職員数	人	4.10	5.50	4.75	4.75	5.00						
		総額(B)	千円	34,244	44,215	38,808	37,526	40,260						
	総事業費(A+B)		368,350	370,757	433,594	410,327	470,641							
	特定財源(C)		5,389	6,403	7,411	6,119	5,393							
	(内訳)	国	494	476	482	482	478							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	4,895	5,927	6,929	5,637	4,915							
	市負担(D)		362,961	364,354	426,183	404,208	465,248							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	362,961	364,354	426,183	404,208	465,248							
財源計(C+D)		368,350	370,757	433,594	410,327	470,641								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① ㈱イズミ											
			② 大代興業㈱、㈱アカツキ											
			③ ㈱サンメンテナンス											
	主な委託内容		警備業務、清掃業務、機械設備等管理業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	吹田市エコオフィスプランに基づき、節エネルギーに取り組みます。			目標	吹田市エコオフィスプランに基づき、庁舎電気使用量を前年度(平成27年度 2,570,261kwh)比1%削減します。
	②	成果内容	庁舎の照明の間引き等、節電の呼びかけを実施しました。			達成状況	平成28年度 2,665,426kwh 電気使用量が増加し、目標を達成することはできませんでした。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>定期的・計画的な設備のメンテナンス・更新・保守を行うことにより、設備等の適切な運用を行っています。共用部にLED照明を導入するなど節電の取組により、電気使用量の削減に努めましたが、平成28年度は、猛暑により、空調設備の稼働日が多かったため、平成27年度比で3.70%増加しました。</p> <p>設備等を更新する際、設置に伴う工事により、エネルギーやコストが一定増加することとなりますが、最新の環境性を有するものを導入することにより、運用コストを削減できるようにします。</p> <p>設備面ではトイレの快適性向上のため、中層棟1階、低層棟全階の洋式トイレに温水洗浄暖房便座を整備しました。</p>				

事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	庁舎管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00026				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	00026
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

平成28年度「市庁舎サイン等改修事業」(平成29年度廃止)において、本庁舎内のサインについて、カラーリングや表示箇所等を統一的にリニューアルし、来庁者が快適に利用できる庁舎の実現を図りました。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	15	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	15
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	15														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	15														
(3)現状分析	<p>本庁舎は市政の拠点であり、非常時の防災拠点となるなど、柔軟な管理運営を行う必要があります。そのため、警備業務等一部の業務について業務委託することにより、効率的な施設管理を実施しております。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	車両運行事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	道路運送法													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	範囲等	職員、公用車、公用バイク												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	業務遂行のために、自動車保険や燃料等の車両関係業務を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	円滑な業務の確保。												
(7) 事業概要	公用車や公用バイクの保険関係業務、車両リース関係業務及び燃料受払い事務等の車両関係業務。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		28,251	22,920	27,713	23,541	26,922							
	人件費	職員数	人	7.25	7.25	8.25	8.25	6.25						
		総額(B)	千円	60,552	58,283	67,403	65,176	50,325						
	総事業費(A+B)		88,803	81,203	95,116	88,717	77,247							
	特定財源(C)		0	41	0	0	0							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	41	0	0	0							
	市負担(D)		88,803	81,162	95,116	88,717	77,247							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		88,803	81,162	95,116	88,717	77,247								
財源計(C+D)		88,803	81,203	95,116	88,717	77,247								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	エイ・リーシング(株)										
			②	ニッポンレンタカー阪急(株)										
			③											
	主な委託内容		一部の公用車のリース											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 公用車稼働回数	目標値	(単位:回)	2,367.00	2,326.00	2,594.00	
			実績値	(単位:回)	2,326.00	2,594.00		
			達成度(%)		98.3	111.5		
	目標値の積算方法	総務室公用車(乗用車、ワゴン車)稼働回数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		34.91	35.06	
				一般財源(単位:千円)		34.89	35.06	
	(2) 成果指標	②	指標内容 共用軽自動車稼働回数	目標値	(単位:回)	9,443.00	10,676.00	8,495.00
実績値				(単位:回)	10,676.00	8,495.00		
達成度(%)				113.1	79.6			
目標値の積算方法		共用軽自動車稼働回数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.61	10.71	
				一般財源(単位:千円)		7.60	10.71	
(3) が困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	業務遂行のために、適切な車両関係業務を行っている。			達成状況	円滑な業務の確保	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	全庁的な要望に応え運転手付公用車運行や公用軽自動車の貸出業務を行っており、今後も継続して事業を行っていく必要があると考えております。						

事務事業分析シート

所属名	総務部総務室(車両担当)	事業名	車両運行事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00029				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務部総務室(車両担当)	事務事業番号	00029
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (点数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (点数)	妥当性	10	有効性	15	効率性	10	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (点数)														
妥当性	10														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>保有車両の老朽化が進み環境負荷の大きい古い車両の更新を進める必要があります。また、環境に配慮した車両のメンテナンス付リース車への更新を行い、整備事業費の削減を進めます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	車両整備事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	不明	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	道路運送車両法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	公用車、公用バイク											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	業務遂行のために、安全に整備された車両を提供をする。 円滑な業務の確保。												
(7) 事業概要	公用車や公用バイクの管理及び継続検査や定期点検などの整備関係業務。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8,548	4,826	9,822	5,560	6,748							
	人件費	職員数	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	8,352	8,039	8,170	7,900	8,052						
	総事業費(A+B)		16,900	12,865	17,992	13,460	14,800							
	特定財源(C)		0	15	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	15	0	0	0						
	市負担(D)		16,900	12,850	17,992	13,460	14,800							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		16,900	12,850	17,992	13,460	14,800								
財源計(C+D)		16,900	12,865	17,992	13,460	14,800								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 松永自動車工業(株)											
			② (株)阪急阪神エムテック											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③ (有)中村自動車											
			主な委託内容 定期点検、法定点検、一般修理											
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	車検、点検、一般修理台数	目標値	(単位:台)	140.00	146.00	134.00
			実績値	(単位:台)	146.00	134.00	/	
		達成度(%)				104.3		91.8
	目標値の積算方法	定期検査受、法定点検(ガス容器点検含む)、一般修理の前年度合計台数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		88.12		102.46
				一般財源(単位:千円)		88.01	102.46	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)					0.0		0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
		達成度(%)				0.0		0.0
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)					0.0		0.0	
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)			0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	安全運行のため、車両の管理を適切に行っている。			達成状況	安全な車両の提供。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		公用車を安全に整備して安心して利用できるようにしています。また、車検、点検の見積合せにより経費の削減に努めています。					

## 事務事業分析シート

所属名	総務部総務室(車両担当)	事業名	車両整備事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00030				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務部総務室(車両担当)	事務事業番号	00030
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>車両の老朽化が進み車両の安全運行や整備用務改善のため、全車両メンテナンス付リースに更新を進める必要があります。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	タクシー利用事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井亨一

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	不明	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	道路運送法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	職員等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	業務遂行に必要なタクシー関係業務を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	円滑な業務の確保													
(7)	事業概要	公用車の配車が不可能な場合や他の交通手段の利用が難しいなどの時に使用するタクシーチケット関係業務。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	大事業	02	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,000	1,451	1,900	1,581	1,800							
		人件費	職員数	人	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	4,176	4,020	4,085	3,950	4,026						
		総事業費(A+B)		6,176	5,471	5,985	5,531	5,826							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		6,176	5,471	5,985	5,531	5,826							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			6,176	5,471	5,985	5,531	5,826								
財源計(C+D)		6,176	5,471	5,985	5,531	5,826									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本タクシー(株)											
				② 新大阪タクシー(株)											
				主な委託内容	③ (株)国際興業大阪										
					タクシー運行業務										
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金		交付先	①												
			②												
			③												
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	タクシー運行台数	目標値	(単位:台)	426.00	383.00	496.00
			実績値	(単位:台)	383.00	496.00	/	
		達成度(%)		89.9	129.5			
	目標値の積算方法	タクシー運行台数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	14.28	11.42		
				一般財源(単位:千円)	14.28	11.42		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合を示す		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	業務遂行のため、各課の要望に応じている。	達成状況	円滑な業務の確保。			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	公用車の配車が困難な場合や、公共交通機関の利用が困難な場合等に関し、タクシーの利用を認め、各部署の円滑な業務遂行のためのサポートをしています。						

## 事務事業分析シート

所属名	総務部総務室(車両担当)	事業名	タクシー利用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00031				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	10	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①サービス開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務部総務室(車両担当)	事務事業番号	00031
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>公用車及び運転手職員の減少により車両の配車ができない時、タクシー利用の対応が必要になってきている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	バス利用事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井亨一

### 1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成19年度	改正 内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	道路運送法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	職員、市民等												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	業務遂行に必要なバス関係業務を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	人員の大量輸送。													
(7)	事業概要	各室課の事業遂行時のマイクロバス利用要望に応えるためのマイクロバス委託運行関係業務を行う。													
(8)	H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	01	目	09	大事業	03	中事業	01	小事業	01
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,665	1,989	2,765	1,920	2,592							
		人件費	職員数	人	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25						
			総額(B)	千円	2,088	2,010	2,043	1,976	2,013						
		総事業費(A+B)		4,753	3,999	4,808	3,896	4,605							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		4,753	3,999	4,808	3,896	4,605							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			4,753	3,999	4,808	3,896	4,605								
財源計(C+D)		4,753	3,999	4,808	3,896	4,605									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	(株)ジャパン・リリーフ										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	バス利用日数	目標値	(単位:日)	187.00	109.00	101.00
			実績値	(単位:日)	109.00	101.00	/	
		達成度(%)		58.3	92.7			
	目標値の積算方法	大型バス使用、マイクロバス使用の前年度合計使用日数(平成27年度よりマイクロバス使用日数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	36.69	39.24		
				一般財源(単位:千円)	36.69	39.24		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) 困難な場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	業務遂行のため、各課の要望に応じている。			達成状況	円滑な業務の確保。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		全市的な事業を一括で行っており、その事業効果は高く、各室課からの利用依頼も多くあります。					

事務事業分析シート

所属名	総務部総務室(車両担当)	事業名	バス利用事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00032				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務部総務室(車両担当)	事務事業番号	00032
-----	--------------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>Detailed description of the radar chart: The chart has five axes. The top axis is '妥当性' (Justification) with a scale from 0 to 20. The right axis is '有効性' (Effectiveness) with a scale from 0 to 20. The bottom-right axis is '効率性' (Efficiency) with a scale from 0 to 20. The bottom-left axis is '公平性' (Fairness) with a scale from 0 to 20. The left axis is '持続可能性' (Sustainability) with a scale from 0 to 20. The chart shows a blue shaded area representing the evaluation results. The scores are: 妥当性: 10, 有効性: 10, 効率性: 15, 公平性: 10, 持続可能性: 10.</p>		
(3)現状分析	バス利用の経費が上がってきている状況ですが、まだまだ安価に運用できています。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	工業統計調査受託事業				
担当部署	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	統計委員会の設置や基本計画の策定により統計業務体系の整備を行うことが明記され、従来統計業務について定めていた統計報告調整法は廃止された。											
(2) 直近の改正	平成19年													
(3) 根拠法令等	統計法、統計法施行令、工業統計調査施行規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	吹田市市内の製造業を営む事業所												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	工業に関する施策の基礎資料を得ること												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	行政資料として活用されるほか、民間企業における経営上の参考資料となっている												
(7) 事業概要	工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的に毎年実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	01	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		8	0	102	6	772							
	人件費	職員数	0.05	0.00	0.15	0.15	0.30							
		総額(B)	418	0	1,226	1,186	2,416							
	総事業費(A+B)		426	0	1,328	1,192	3,188							
	(内訳)	特定財源(C)		8	0	102	6	772						
		国		8	0	102	6	771						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	1						
	(内訳)	市負担(D)		418	0	1,226	1,186	2,416						
		地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		418	0	1,226	1,186	2,416						
財源計(C+D)		426	0	1,328	1,192	3,188								
(10) (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 調査事業所数	目標値	(単位:件)	164.00	119.00	0.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	調査を行う全事業所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	指標内容 29年の準備調査のため、調査事業数はありません。	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		調査を行う全事業所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 調査訪問事業所数	目標値	(単位:件)	164.00	119.00	309.00	
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	調査訪問事業所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0		
	②	指標内容 29年の準備調査のため、調査訪問事業所数はありません。	目標値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:件)	0.00	0.00	0.00	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		調査訪問事業所数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	/
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国が実施する基幹統計調査の市経由分です。毎年調査を行うことになっており、継続して行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	工業統計調査受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00034				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	00034
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国が実施する基幹統計調査の市経由分です。工業の実態を明らかにし、工業に関する施策の基礎資料を得ることを目的に毎年実施しており、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として実施しています。調査は、市町村事務処理基準等で定められた調査方法により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	学校基本調査受託事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和23年度	改正内容	統計委員会の設置や基本計画の策定により統計業務体系の整備を行うことが明記され、従来統計業務について定めていた統計報告調整法は廃止された。											
(2) 直近の改正	平成19年													
(3) 根拠法令等	統計法、統計施行令、学校基本調査規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市内の学校											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすること。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	学校教育行政上の基礎資料並びに地方交付税の算定基礎を得ている。												
(7) 事業概要	学校調査、経費及び資産調査、学校施設調査、入学調査、卒業生調査、教員・学生・生徒・児童異動調査及び学齢児童及び学齢生徒調査の7つの調査で構成され、別に附帯調査として卒業生調査に関連した「就職状況調査」を実施。その後、調査対象、調査の構成、調査事項などが変更されているが、基本的には当初の形式が踏襲されている。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		33	32	33	33	33							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05						
		総額(B)	千円	418	402	409	396	403						
	総事業費(A+B)		451	434	442	429	436							
	特定財源(C)		33	32	33	33	33							
	(内訳)	国		33	32	33	33	33						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		418	402	409	396	403							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		418	402	409	396	403						
財源計(C+D)		451	434	442	429	436								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	教育施設数	目標値	(単位:校)	115.00	117.00	0.00	
			実績値	(単位:校)	117.00	117.00	/	
			達成度(%)		101.7	100.0		
	目標値の積算方法	吹田市内の教育施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.71	3.78	/
				一般財源(単位:千円)		3.44	3.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標	①	教育施設数	目標値	(単位:校)	115.00	117.00	117.00	
			実績値	(単位:校)	117.00	117.00	/	
			達成度(%)		101.7	100.0		
	目標値の積算方法	調査に協力した教育施設数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		3.71	3.78	
				一般財源(単位:千円)		3.44	3.50	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
					一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(3) が指標で困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国が実施する基幹統計調査の市経由分です。毎年調査を行うことになっており、継続して行う必要があります。					

# 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	学校基本調査受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00035				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	00035
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国が実施する基幹統計調査の市経由分です。学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的に毎年実施しており、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として実施しています。調査は、市町村事務処理基準等で定められた調査方法により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	経済センサ調査区管理受託事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成23年度	改正内容	統計委員会の設置や基本計画の策定により統計業務体系の整備を行うことが明記され、従来統計業務について定めていた統計報告調整法は廃止された											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	統計法、統計法施行令													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総計計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	経済センサスにおける調査区情報												
	目標 (どうい状態にしたいのか)	調査区の情報の維持管理												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	調査を正確かつ円滑に遂行できる												
(7) 事業概要	調査区を毎年管理し、境界等の変更に伴う調査区情報を修正し、母集団データを常に最新かつ正確な状態に維持するための調査区管理業務(法定受託事務)													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	03	小事業	01
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		5	25	24	24	31							
	人件費	職員数	人	0.05	0.05	0.05	0.05							
		総額(B)	千円	418	402	409	396							
	総事業費(A+B)		423	427	433	420	434							
	特定財源(C)		5	25	24	24	31							
	(内訳)	国	5	25	24	24	31							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		418	402	409	396	403							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	418	402	409	396	403							
財源計(C+D)		423	427	433	420	434								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 調査区数確認	目標値	(単位:件)	290.00	290.00	290.00	
			実績値	(単位:件)	290.00	290.00		
		達成度(%)				100.0	100.0	
	目標値の積算方法	調査区数確認	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.47	1.49	
				一般財源(単位:千円)		1.39	1.41	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法		調査区数確認	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標で困難な場合		①	指標内容 調査区数確認	目標値	(単位:件)	290.00	290.00	290.00
	実績値			(単位:件)	290.00	290.00		
	達成度(%)				100.0	100.0		
	目標値の積算方法	調査区数確認	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1.47	1.49	
				一般財源(単位:千円)		1.39	1.41	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	成果内容				達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	国が実施する基幹統計調査の市経由分です。毎年調査を行うことになっており、継続して行う必要があります。						

## 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	経済センサス調査区管理受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00036				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 c. 定量的な指標設定ができておらず、目標や達成状況の分析も十分できていない。(1点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3			点
(3) 効率性 (20点)	14			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3			点
③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5			点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5			点
(5) 持続可能性 (20点)	16			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務室	事務事業番号	00036
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five criteria on a scale of 0 to 20. The scores are: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (10), and 持続可能性 (10).</p>		
(3)現状分析	<p>経済センサスの実施にあたり、境界等の変更に伴う調査区情報を修正し、母集団データを常に正確な状態に維持していくために、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として基幹統計調査(経済センサス)に伴う調査区管理業務を毎年実施しています。調査区設定に伴う事務は、実施要領等の基準により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	農林業センサ受託事業				
担当部署	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和25年度	改正内容	統計委員会の設置や基本計画の策定により統計業務体系の整備を行うことが明記され、従来統計業務について定めていた統計報告調整法は廃止された。											
(2) 直近の改正	平成19年													
(3) 根拠法令等	統計法、統計法施工令、農林業センサ規則													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が一定規模以上の「農林業生産活動を行う者(組織の場合は代表者)」を対象											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を得る												
(7) 事業概要	農林業の基本構造の現状と動向を明らかにし、農林行政に必要な基礎資料を整備することを目的に5年毎に実施している。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	99	小事業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)		決算(千円)		予算(千円)		決算見込(千円)		予算(千円)			
	事業費(A)		18		29		0		0		0			
	人件費	職員数	人	0.05		0.05		0.00		0.00		0.00		
		総額(B)	千円	418		402		0		0		0		
	総事業費(A+B)		436		431		0		0		0			
	(内訳)	特定財源(C)		18		29		0		0		0		
		国		18		29		0		0		0		
		府		0		0		0		0		0		
	その他		0		0		0		0		0			
	(内訳)	市負担(D)		418		402		0		0		0		
		地方債		0		0		0		0		0		
		その他		0		0		0		0		0		
一般財源		418		402		0		0		0				
財源計(C+D)		436		431		0		0		0				
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 調査実施の26年度は調査客体数(調査票の配付数)を入力。27年度はデータの管理のためのため、指標内容の設定できません。	目標値	(単位:世帯(年度))	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:世帯(年度))	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	調査客体数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
(2) 成果指標		①	指標内容 調査実施の26年度は調査客体数(調査票の配付数)を入力。27年度はデータの管理のためのため、指標内容の設定できません。	目標値	(単位:世帯)	0.00	0.00
	実績値			(単位:世帯)	0.00	0.00	
	達成度(%)			0.0	0.0		
	目標値の積算方法	調査客体数(調査票の配付数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が指標で困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		国が実施する基幹統計調査の市経由分です。5年毎に調査を行うことになっており、継続して行う必要があります。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	農林業センサス受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	00037				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)
②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3			点
③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5			点
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5			点
(3) 効率性 (20点)	14			①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)
②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3			点
③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5			点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5			点
(5) 持続可能性 (20点)	16			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	総務室	事務事業番号	00037
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>農林業センサスの実施後、データを集計管理するために、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として農林業センサス後実施します。集計管理に伴う事務は、実施要領等の基準により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	統計調査員確保対策事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和49年度	改正内容	なし																	
(2) 直近の改正	なし																			
(3) 根拠法令等	統計調査員確保対策事業委託要綱(総務省政策統括官(統計基準担当)等)																			
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)																	
	一部にチェックした場合はその説明																			
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00													
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他															
		範囲等	登録統計調査員																	
	目標(どういう状態にしたいのか)	統計調査員の確保及び資質の向上を図ることにより、統計調査の円滑な執行を図る																		
	結果(どのような効果が得られるのか)	統計調査の円滑な実施																		
(7) 事業概要	総務省の「統計調査員確保対策事業」に基づき実施するもので、登録調査員希望者を登録し、統計調査員の確保及び資質の向上を図る。																			
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	03	大	事	業	01	中	事	業	01	小	事	業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)													
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)													
	事業費(A)		120	32	116	32	134													
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.05	0.00	0.05													
		総額(B)	418	402	409	0	403													
	総事業費(A+B)		538	434	525	32	537													
	(内訳)	特定財源(C)		120	32	116	32	134												
		国		120	32	116	32	134												
		府		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
	(内訳)	市負担(D)		418	402	409	0	403												
		地方債		0	0	0	0	0												
		その他		0	0	0	0	0												
		一般財源		418	402	409	0	403												
財源計(C+D)		538	434	525	32	537														
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施																			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①																	
			②																	
			③																	
	主な委託内容																			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①																	
②																				
③																				
<input type="checkbox"/> その他	内容																			

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	新規登録調査員数	目標値	(単位:人)	10.00	10.00	10.00
			実績値	(単位:人)	102.00	7.00	
			達成度(%)		1,020.0	70.0	
	目標値の積算方法	年齢等により登録統計調査員を辞退する調査員を見込んでの新規登録者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.25	4.57	
				一般財源(単位:千円)	3.94	0.00	
	(2) 成果指標	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)				0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	登録統計調査員延人数	目標値	(単位:人)	145.00	145.00
	実績値			(単位:人)	264.00	233.00	
	達成度(%)			182.1	160.7		
	目標値の積算方法	経済センサスの調査区数(290調査区)の2分の1に乗じて得た数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.64	0.14	
				一般財源(単位:千円)	1.52	0.00	
	(3) が困難な場合	②		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		平成23年度に「吹田市統計調査員の登録に関する要領」を制定し、統計調査員の確保に努めています。引き続き、円滑な統計調査を行うためには、熟達した調査員が必要であり、継続が必要です。				

# 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	統計調査員確保対策事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00038				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	00038
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	<table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	15	有効性	10	効率性	5	公平性	5	持続可能性	10
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	15														
有効性	10														
効率性	5														
公平性	5														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>円滑な統計調査の実施と、統計の正確性を確保するため、あらかじめ統計調査員希望者を登録し、統計調査員の確保及びその資質の向上を図ることを目的に毎年実施しており、総務省の「統計調査員確保対策事業」に基づき、法定受託事務として実施しています。事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	吹田市統計書作成事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和42年度	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	なし													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	本市の人口、産業、社会、文化など多分野にわたる基礎的な統計資料											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	総合的に記録												
	各方面での諸施策・諸業務の企画・立案、学術研究に広く活用していただく													
(7) 事業概要	官公庁、庁内各部課並びに民間諸団体などの報告、又は本市で直接調査収集した資料により、分野別にまとめて一冊の統計書として発刊し、庁内各部室課並びに報告を受けた官公庁、民間諸団体など及び図書館等に無償で頒布する。希望者には、印刷代相当額にて有償頒布する。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	03	大事業	01	中事業	02	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		203	186	198	178	197							
	人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.15	0.15							
		総額(B)	千円	836	804	1,226	1,186							
	総事業費(A+B)		1,039	990	1,424	1,364	1,405							
	(内訳)	特定財源(C)		0	2	0	0							
		国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
	その他		0	2	0	0								
	(内訳)	市負担(D)		1,039	988	1,424	1,364							
		地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		1,039	988	1,424	1,364	1,405								
財源計(C+D)		1,039	990	1,424	1,364	1,405								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 統計書作成数	目標値	(単位:冊)	250.00	250.00	250.00
			実績値	(単位:冊)	260.00	260.00	/
			達成度(%)		104.0	104.0	
	目標値の積算方法	統計書作成数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.81	5.40	
			一般財源(単位:千円)	3.80	5.40		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	統計書作成数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標		①	指標内容 統計書頒布数	目標値	(単位:冊)	240.00	240.00
	実績値			(単位:冊)	240.00	240.00	/
	達成度(%)			100.0	100.0		
	目標値の積算方法	統計書作成数×0.9	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.13	5.85	
			一般財源(単位:千円)	4.12	5.85		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値の積算方法	統計書作成数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		「吹田市統計書」は、冊子による配布と販売、また平成15年度から、同じ内容を市のホームページに掲載し、利用者の利便性の向上も図り提供しています。従来より配布基準の見直しや有償配布の状況により、冊子の発行部数の削減を行っています。今後も引き続きニーズの把握やコストを考慮し検討します。				

# 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	吹田市統計書作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00039				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	70	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	00039
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「吹田市統計書」は、冊子による配布と販売、また平成15年度から、同じ内容を市のホームページに掲載し、利用者の利便性の向上も図り提供しています。従来より配布基準の見直しや有償配布の状況により、冊子の発行部数の削減を行っており、平成22年度(平成22年版)の「吹田市統計書」から発行部数を減らし、印刷製本費の削減に努めている。今後も引き続きニーズの把握やコストを考慮し検討します。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>官公庁、庁内各部課並びに民間諸団体などの報告、又は本市で直接調査収集した資料により、分野別にまとめて一冊の統計書として発刊し、庁内各部課並びに報告を受けた官公庁、民間諸団体など及び図書館等に無償で頒布しています。また希望の図書館等施設に無償で、また希望者には、印刷代相当額(700円)にて有償頒布しています。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調査書

事務事業名	国勢調査受託事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	大正9年	改正内容	国勢調査施行規則(昭和55年総理府令第21号)の改正によりオンライン調査や委託管理団体が調査を行うことが可能となる。											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	統計法(平成19年法律第53号)第5条第2項の規定に基づく基幹統計調査													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どのような状態にしたいのか)	範囲等	平成28年10月1日午前0時現在を基準とし、日本に常住している外国人を含めたすべての者。ただし外国政府の外交使節団・領事機関の構成員(随員を含む。)及びその家族、外国軍隊の軍人・軍属及びその家族は除く											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的とする。												
(7) 事業概要	平成28年10月1日午前0時現在を基準とし、日本に常住している外国人を含めたすべての者に調査票を配付し回収を行い、国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	98	小事業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		170,002	164,543	0	0	0							
	人件費	職員数	4.25	4.30	0.00	0.00	0.00							
		総額(B)	35,496	34,568	0	0	0							
	総事業費(A+B)		205,498	199,111	0	0	0							
	特定財源(C)		170,002	164,543	0	0	0							
	(内訳)	国	169,920	164,495	0	0	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	82	48	0	0	0							
	市負担(D)		35,496	34,568	0	0	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		35,496	34,568	0	0	0								
財源計(C+D)		205,498	199,111	0	0	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 日本通運(株)(平成27年度)											
			②											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	③											
			①											
②														
<input type="checkbox"/> その他	内容	調査員への調査用品の仕分け配送作業等												

## 2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 平成27年10月1日現在の吹田市の推計人口	目標値	(単位:人)	369,614.00	0.00	0.00
			実績値	(単位:人)	374,468.00	0.00	/
			達成度(%)		101.3	0.0	
	目標値の積算方法 平成28年10月に確報値が公表されたため、確報値を入力。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.53	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.09	0.00		
	(2) 成果指標	②	指標内容 平成27年10月1日現在の吹田市の推計世帯数	目標値	(単位:世帯)	163,981.00	0.00
実績値				(単位:世帯)	168,473.00	0.00	/
達成度(%)				102.7	0.0		
目標値の積算方法 平成28年10月に確報値が公表されたため、確報値を入力。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.18	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.21	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 平成27年10月1日現在の吹田市の推計人口	目標値	(単位:人)	369,614.00	0.00
	実績値			(単位:人)	374,468.00	0.00	/
	達成度(%)			101.3	0.0		
	目標値の積算方法 平成28年10月に確報値が公表されたため、確報値を入力。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.53	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.09	0.00		
	②	指標内容 平成27年10月1日現在の吹田市の推計世帯数	目標値	(単位:世帯)	163,981.00	0.00	0.00
実績値			(単位:世帯)	168,473.00	0.00	/	
達成度(%)		102.7	0.0				
目標値の積算方法 平成28年10月に確報値が公表されたため、確報値を入力。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.18	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.21	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定					
	評価の説明	国が実施する基幹統計調査の市経由分です。5年毎に調査を行うことになっており、継続して行う必要があります。					

事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	国勢調査受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01393				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	01393
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国内の人口・世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的としており、5年毎に実施しています。基幹統計調査の中でも実施規模は最大であり、集計されたデータは最も使用されている調査であるといえます。この調査は交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)



## 事務事業評価調書

事務事業名	経済センサスー活動調査受託事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 享一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年	改正内容	経済センサス活動調査規則の一部を改正により、オンライン調査の拡大、調査員調査の委託等調査方法の見直しが行われました。											
(2) 直近の改正	平成27年													
(3) 根拠法令等	統計法(平成19年法律第53号)に基づく基幹統計調査													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標(どういう状態にしたいのか)	範囲等	農業・林業・漁業に属する事業所、家事サービス業及び外国公務に属する事業所以外のすべての事業所											
	結果(どのような効果が得られるのか)	我が国の全産業分野の売上金額や費用などを把握し、事業所・企業の経済活動を全国的及び地域的に明らかにする。 日本の経済活動を明らかにする。												
(7) 事業概要	我が国の全産業分野の売上金額や費用などの経理項目を同一時点で網羅的に把握し、事業所・企業の経済活動を全国的及び地域的に明らかにするとともに、事業所・企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得ること。													
(8) H28事業別予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	04	小事業	01
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)		平成29年度(2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		757	560	17,641	10,508	0							
	人件費	職員数	人	0.30	0.30	1.50	1.50	0.00						
		総額(B)	千円	2,506	2,412	12,255	11,850	0						
	総事業費(A+B)		3,263	2,972	29,896	22,358	0							
	特定財源(C)		757	559	17,641	10,509	0							
	(内訳)	国	757	558	17,625	10,503	0							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	1	16	6	0							
	市負担(D)		2,506	2,413	12,255	11,849	0							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		2,506	2,413	12,255	11,849	0								
財源計(C+D)		3,263	2,972	29,896	22,358	0								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 調査票回収対象事業所数	目標値	(単位:枚)	290.00	8,878.00	0.00
			実績値	(単位:枚)	290.00	6,481.00	/
		達成度(%)			100.0	73.0	
		目標値の積算方法 調査票提出数(オンライン回答数含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.25	3.51	
	一般財源(単位:千円)			8.32	1.89		
	②	指標内容 27年度は準備調査のため、調査区数290を記載。	目標値	(単位:調査区)	290.00	8,878.00	0.00
			実績値	(単位:調査区)	290.00	6,481.00	/
		達成度(%)			100.0	73.0	
目標値の積算方法 27年度は準備調査のため、調査区数290に調査員を大阪府へ推薦し、調査員を配置できた調査区数。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.25	3.51		
	一般財源(単位:千円)		8.32	1.89			
(2) 成果指標	①	指標内容 調査票回収対象事業所数	目標値	(単位:枚)	290.00	8,812.00	0.00
			実績値	(単位:枚)	290.00	6,481.00	/
		達成度(%)			100.0	73.5	
		目標値の積算方法 調査票提出数(オンライン回答数含む)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.25	3.51	
	一般財源(単位:千円)			8.32	1.89		
	②	指標内容 27年度は準備調査のため、調査区数290を記載。	目標値	(単位:調査区)	290.00	8,812.00	0.00
			実績値	(単位:調査区)	290.00	6,481.00	/
		達成度(%)			100.0	73.5	
目標値の積算方法 27年度は準備調査のため、調査区数290に調査員を大阪府へ推薦し、調査員を配置できた調査区数。		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.25	3.51		
	一般財源(単位:千円)		8.32	1.89			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		国が行う基幹統計調査の市経由です。平成27年度に調査区の整備調整・指導員及び調査員の推薦・調査事務用品の管理等を行い、平成28年度は調査票を配付、回収、審査を行いました。				

## 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	経済センサスー活動調査受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01394				

### 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	<b>84</b>	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	01394
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的としており、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として実施しています。調査は、市町村事務処理基準等で定められた調査方法により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

## 事務事業評価調書

事務事業名	商業統計調査受託事業				
担当部名	総務部	室課名	総務室	室課長名	吉井 亨一

### 1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和27年	改正内容	なし											
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	統計法													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	08	基本計画推進のために	節	04	細節	00							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	日本標準産業分類に掲げる「大分類1卸売業、小売業」に属する全国の事業所											
	目標 (どういう状態にしたいのか)	産業別、従業者規模別、地域別等に従業者数、商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ること。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	我が国商業の実態を明らかにする。												
(7) 事業概要	商業を営む事業所について、産業別、従業者規模別、地域別等に従業者数、商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としている。													
(8) H28事業別 予算コード	会計	01	款	02	項	05	目	02	大事業	01	中事業	97	小事業	99
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)		平成29年度 (2017年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		33	26	0	0	13							
	人件費	職員数	0.05	0.05	0.00	0.00	0.05							
		総額(B)	418	402	0	0	403							
	総事業費(A+B)		451	428	0	0	416							
	特定財源(C)		33	26	0	0	13							
	(内訳)	国	33	26	0	0	13							
		府	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		418	402	0	0	403							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	418	402	0	0	403							
財源計(C+D)		451	428	0	0	416								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 調査区数(本来は調査票の配付数で達成率を入力。27年度に調査区とデータの管理のみを行い、今年度は何も行っていない。)	目標値	(単位:調査区)	290.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:調査区)	290.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	調査区数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.09	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 調査区数(本来は調査票の配付数で達成率を入力。27年度に調査区とデータの管理のみを行い、今年度は何も行っていない。)	目標値	(単位:調査区)	290.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:調査区)	290.00	0.00		
			達成度(%)		100.0	0.0		
	目標値の積算方法	調査区数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.09	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		国が実施する基幹統計調査の市経由分です。新設された経済センサスに統合され、廃止予定でしたが、経済センサスの回答率が悪いため、完全に廃止に至っていません。					

# 事務事業分析シート

所属名	総務室	事業名	商業統計調査受託事業	事業区分	その他
事務事業番号	01395				

## 1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 <b>a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)</b>	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 <b>b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)</b>	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 <b>c. 実施意義は薄れてきている。(1点)</b>	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 <b>b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)</b>	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 <b>b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)</b>	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 <b>a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)</b>	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 <b>c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)</b>	1	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 <b>a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)</b>	5	点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 <b>a. 単位当たりコストは適正である。(5点)</b>	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 <b>b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)</b>	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 <b>c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)</b>	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 <b>b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)</b>	3	点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。 <b>b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)</b>	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 <b>b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)</b>	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 <b>a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)</b>	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 <b>a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)</b>	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 <b>a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)</b>	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 <b>a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)</b>	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 <b>b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)</b>	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。 <b>a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)</b>	5	点
評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	総務室	事務事業番号	01395
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>我が国の商業について、産業別、従業者規模別、地域別等に従業者数、商品販売額等を把握し、我が国商業の実態を明らかにし、商業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としており、統計法等の関係法令に基づき法定受託事務として実施しています。調査は、市町村事務処理基準等で定められた調査方法により実施し、その事業費は、交付金をもって執行しています。以上の点から、市が判断する余地はありません。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)